Japanese Utility Model Laid-open Publication No. 1-106534

Japanese Utility Model Application No. 62-201068

2. Claims

5

10

15

20

- 1) An apparatus for producing an optical fiber soot preform, which has a rotating and elevating device for holding, rotating around the vertical axis, and vertically moving the optical fiber soot preform, a burner device which ejects at least oxygen, hydrogen, and a glass forming material toward the optical fiber soot preform which is held by the rotating and elevating device, a muffle which contains a nozzle portion of the burner device and the optical fiber soot preform and which is provided with a supply vent through which air or an inert gas flows inside and an exhaust vent which is disposed opposite the nozzle portion of the burner device with the optical fiber soot preform therebetween, comprising: a duct, one end of which is connected to the muffle so as to cover the nozzle portion of the burner device, and the other end of which is connected to the exhaust vent, and which has an opening for receiving a part of the optical fiber soot preform; and a supply vent which is formed so as to surround the nozzle portion of the burner device and through which air or an inert gas flows inside.
- 2) An apparatus for producing an optical fiber soot preform according to Claim 1 of the present utility model application, wherein the cross section of the duct has a circular or a rectangular shape.
 - 3) An apparatus for producing an optical fiber soot preform according to

		• • •
		• •
		• • • • •
		<u>*</u>
٠		

one of Claims 1 and 2 of the present utility model application, wherein the duct is constructed of a material selected from SiO₂, Al₂O₃, SiC, and SiN, or of a combination of two or more materials selected therefrom.

- 4) An apparatus for producing an optical fiber soot preform according to one of Claims 1 to 3 of the present utility model application, wherein the duct is constructed in sections.
- 5) An apparatus for an optical fiber soot preform according to one of Claims 1 to 4 of the present utility model application, wherein the supply vent, which is disposed so as to surround the nozzle portion of the burner device in the duct, is provided with a filter formed of a glass or of a fluorocarbon resin.

<Embodiment> (partial)

5

10

15

20

Figure. 1 shows an apparatus for producing an optical fiber soot preform, according to the present embodiment.

A target 1, which extends in the vertical direction, is held at the upper end thereof by a chuck (not shown) of a rotating and elevating device for rotating and vertically moving the target 1. As shown in the figure, glass particles are deposited on the lower end of the target 1, forming the optical fiber soot preform 2.

Furthermore, a hydroxygen burner 3 is disposed in an inclined manner so as to point toward the lower end of the optical fiber soot preform 2 from the lower side. A material 4 composed of SiO₂ or GeO₂, which is generated inside the hydroxygen burner 3, is sprayed toward the lower end of the optical fiber

			•	•	ŧ,
				•	·
			A . •		

soot preform 2, so that the optical fiber soot preform 2 grows downward. The material 4 ejected from the burner 3 is generated by a flame hydrolysis reaction of reactant gases, such as oxygen, hydrogen, a glass forming material, etc., which are supplied from an external source. More specifically, the burner 3 of the present embodiment functions as a spray nozzle for ejecting the material 4 generated inside a burner system. From the viewpoint of the deposition efficiency, the angle between the central axes of the optical fiber soot preform 2 and of the burner 3 is preferably set to a value between approximately 0 degree and 90 degrees.

A muffle 5 is designed so as to contain the above-described optical fiber soot preform 2 and a distal end portion of the burner 3. In addition, an exhaust vent 6 is provided on a side wall of the muffle 5 at the opposite side of the burner 3 with the optical fiber soot preform 2 therebetween.

A duct 7 is constructed such that an end covers the burner 3, and the other end is connected to the exhaust vent 6. The duct 7 is provided with an opening 7a at the upper side for receiving a part of the optical fiber soot preform 2 in the interior thereof and with a supply vent 8 which is formed so as to surround the burner 3. The supply vent 8 is provided with a filter, which is constructed of a glass or of a fluorocarbon resin and which unifies the flow of air or an inert gas which is supplied through the supply vent 8. Thus, air or the inert gas which is supplied through the supply vent 8 flows uniformly toward the exhaust vent 6. Accordingly, an excess glass material 4a which did not adhere to the optical fiber soot preform 2 does not travel into the muffle 5,

•
Pr c 4
•
•
•

and is led out through the exhaust vent 6.

5

10

In addition, the muffle 5 is provided with another supply vent 9 on a side wall thereof. Thus, excess air or excess inert gas inside the muffle flows into the duct 7 through the opening 7a. Due to this flow of air or the inert gas, even the excess glass material which travels upward along the optical fiber soot preform 2 does not move into the muffle 5, and is expelled through the exhaust vent 6.

The duct 7 may be constructed of a material selected from SiO₂, Al₂O₃, SiC, and SiN, or of a combination of two or more materials selected therefrom, and the cross sectional view thereof may have a circular or a rectangular shape. Preferably, the duct 7 is removable from the muffle. In addition, the duct 7 may be separated into two parts, for example, in the axial direction, so that the duct 7 may be easily cleaned.

•	•	٧
٠.		
e5. •	*	

19日本国特許庁(JP)

①実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

平1-106534

@Int_Cl_4

識別記号

庁内整理番号

❷公開 平成1年(1989)7月18日

C 03 B 37/018 G 02 B 6/00

356

A-8821-4G A-7036-2H

審査請求 未請求 (全 頁)

図考案の名称

多孔質光ファイバ母材の製造装置

②実 願 昭62-201068

❷出 願 昭62(1987)12月29日

⑪考 案 者 齊 藤

眞 秀

神奈川県横浜市栄区田谷町1番地 住友電気工業株式会社

横浜製作所内

⑪出 顋 人 住友電気工業株式会社

大阪府大阪市東区北浜5丁目15番地

砂代 理 人 弁理士 光石 英俊

外1名

明 細 書

1. 考案の名称

多孔質光ファイバ母材の製造装置

- 2. 実用新案登録請求の範囲
 - 光ファイバ母材を把持して該光ファイバ母 1) 材を鉛直軸を中心に回転させるとともに鉛直 軸方向へ昇降させる回転昇降機構と、この回 転昇降機構に取付けられた光ファイバ母材に 向けて少なくとも酸素,水素,ガラス原料を 吹き出すパーナ機構と、このパーナ機構の吹 き出し口と上記光ファイバ母材を内包すると ともに空気または不活性ガスを取り入れる給 気口を有するマッフルと、このマッフルの上 記 光 ファ ィ バ 母 材 を 挾 ん で 上 記 バ ー ナ 機 構 の 吹き出し口と対向する位置に設けられた排気 口とを有する多孔質光ファイパ母材の製造装 置 に お い て 、 一 端 は 上 記 パ ー ナ 機 構 の 吹 き 出 し口を内包するよう上記マッフルに接続され るとともに他端は上記排出口と接続され且っ

公開実工平成 1-106534

記光ファイバ母材の一部を内包しうる開口部を有するダクトを設け、このダクト内の上記吹き出し口の周縁に空気または不活性ガスを取り入れる給気口を設けたことを特徴とする
多孔質光ファイバ母材の製造装置。

- 2) ダクトの横断面形状が円形または矩形である実用新案登録請求の範囲第1項記載の多孔 質光ファイバ母材の製造装置。
- 3) ダクトの材質が、SiO₂, Al₂O₃, SiCまたはSiNのいずれかもしくはこれらを組合せたものである実用新案登録請求の範囲第1項あるいは第2項記載の多孔質光ファイバ母材の製造装置。
- 4) ダクトを組立て式とした実用新案登録請求 の範囲第1項,第2項あるいは第3項記載の 多孔質光ファイバ母材の製造装置。
- 5) ダクト内のパーナ機構の吹き出し口の周緑に設られた給気口にガラスまたはフッ素系樹脂からなるフィルターを具備した実用新案登録請求の範囲第1項~第4項のいずれか1項

記載の多孔質光ファイバ母材の製造装置。

- 3. 考案の詳細な説明
 - <産業上の利用分野>

本考案は多孔質光ファイバ母材の製造装置に関する。

<従来の技術>

多孔質光ファイバ母材を製造する方法として軸付け法(VAD法)、外付け法等が知られている。

VAD法は、酸水素炎中に Si C ℓ 4 を投入して火炎加水分解反応により 微細な Si Q の粒子を生成し、この Si Q を出発材の長手方向に堆積させて多孔質光ファイバ母材を形成する方法である。この場合、 Si C ℓ 4 と燃焼ガスとを噴出して反応させるバーナーを多重管構造とし、その一部から Ge C ℓ 4 等の添加物を同時に噴出反応させて Ge Q 等を生成し、Si Q と Ge Q 等とが半径方向において所定の空間的濃度分布となるようにしている。

外付け法は、酸水素炎中に Si Cla と Ge Cla

等の添加物とを供給して火炎加水分解させ、生成したSiO2及びGeO2等の微粒子を出発材であるガラス棒心材の外周に堆積させながら、このガラス棒心材を該心材の軸方向に移動させ、SiO2及びGeO2等の微粒子体を軸方向に成長させて光ファイバ母材を形成する方法である。

尚、屈折率分布をつけるための添加物としてGeCl4を示したが、添加物としては他にBBr3,POCl3等を用いたり、これら複数の添加物を混合して用いる場合もある。また、火炎反応の際に添加物を加えて反応させる他に、純粋なSiO2の多孔質体を作り、この多孔質体の焼結時に添加物を注入する方法も知られている。

ててで、VAD法において用いられている 従来のVAD装置を第2図を参照しながら説 明する。同図に示すように、マッフル51内 には上方からターゲット材21が吊り下げら れると共に斜め下方から酸水素パーナ31が 挿入されており、酸水素バーナ31で発生した SiO2または GeO2の原料流41がターゲット材11の下端に吹き付けられて、多孔質光ファイバ母材21が成長する。マッフル51は多孔質光ファイバ母材21, ターゲット材11, 酸水素バーナ31, 原料流41を外気から隔離する目的でこれらを収納するものであり、一般には通常のガラス、石英質ガラスなどからなる。

<考案が解決しようとする問題点>

しかしながら、従来のVAD装置においては、マッフルと呼ばれる隔壁にSiO2等の微粒子が付着、堆積する問題点があった。

すなわち、酸水素パーナ31で発生したSiO2,GeO2のうち多孔質光ファイバ母材11に堆積できなかった余剰のガラス生成物は図中点線の矢印で示すようにマッフル51内部を浮遊し、その大部分は排気管61を通じて外部へ排出されるが、その一部はマッフル内壁面に付着、堆積される。そして時間と

公開 実用 平成 1-106534

共に堆積量が増大して自重により落下し、その途中で成長中の多孔質光ファイバ母材 2 1 に接触したり、酸水素バーナ 3 1 より吹き 上げられて多孔質光ファイバ母材 2 1 の表面上に異常な Si O₂ の突起状物体を形成し、多孔質光ファイバ母材の持つべき 特性の長手 してが損なわれるという問題が発生していた。まけの表面にクラックが発生していた。すが似までし、このに対していた。 ない母が低下するという問題も発生していた

更に、マッフル内壁面に堆積した SiO₂ 及び GeO₂ の除去,清掃に要する時間も長大であり、段取時間の低減も要求されていた。

本考案はVAD法又は外付け法において、SiO₂, GeO₂等のガラス生成物がマッフルに付着,堆積するのを防止することのできる多孔質光ファイバ母材の製造装置を提供することを目的とするものである。

< 問 題 点 を 解 決 す る た め の 手 段 >

前記目的を達成する本考案の多孔質光ファ イバ母材の製造装置の構成は、光ファイバ母 材を把持して該光ファイバ母材を鉛直軸を中 心に回転させるとともに鉛直軸方向へ昇降さ せる回転昇降機構と、この回転昇降機構に取 付けられた光ファイバ母材に向けて少なくと も酸素,水素,ガラス原料を吹き出すバーナ 機構と、このバーナ機構の吹き出し口と上記 光ファイバ母材を内包するとともに空気また は不活性ガスを取り入れる給気口を有するマ ッフルと、このマッフルの上記光ファイバ母 材を挾んで上記バーナ機構の吹き出し口と対 向する位置に設けられた排気口とを有する多 孔質光ファイバ母材の製造装置において、一 端は上記パーナ機構の吹き出し口を内包する よう上記マッフルに接続されるとともに他端 は上記排出口と接続され且っ上記光ファイバ 母材の一部を内包しうる開口部を有するダク トを設け、このダクト内の上記吹き出し口の

周綴に空気または不活性ガスを取り入れる給気口を設けたことを特徴とする。

<作用>

<実 施 例>

以下、本考案の好適な一実施例を図面を参 照しながら説明する。 第1図は本実施例にかかる多孔質光ファイバ母材の製造装置を示す構成図である。

同図に示すように、鉛直方向へ延びるターゲット材1の上端は該ターゲット材1を鉛面 軸回り回転するとともに昇降する図示しない回転昇降装置のチャックに把持されており、該ターゲット材1の下端部にはガラス微粒子が堆積されて多孔質光ファイバ母材2が形成される。

一方、酸水素バーナ3は多孔質光ファイバ母材2の下端部に斜め下方から向うようで発生したの下端部に対象水素バーナ3で発生している。 SiOz または GeOz の原料流4が多孔質 とってイ質 の下端部に吹き付けられて該多れて以口の下端部に吹き付けられてするの下端部に吹き付けられてするのでは、バーナ3がの保証がある。 ないののはいから 大変がある。 ないののにより生成されるのがある。 すなわち、本実施例のバーナ3はからのがある。 すなわち、本実施例のバーナ3はからのがある。 すなわち、本実施例のバーナ3はからのがからのがなわち、本実施ののバーナ3はからのがから、すなわち、本実施ののバーナ3はからのがある。 すなわち、本実施ののバーナ3はおいたのがあるのがによりにはいるにはいている。 すなわち、本実施ののバーナ3はからのがあるのがなわち、本実施ののバーナ3はからのでき出すがあるのがあるのがあるのではないますがある。 すなわち、本実施ののバーナるのがあるのがあるのがあるのがあるのではないますがある。 すなわち、本実施ののバーナるのがあるのがあるのがあるのがあるがあるがある。 または アンドル は アンドル に アン・アンドル に アンドル に

となっている。なお、堆積作用の効率上、バーナ3は母材2の軸線に対して約0~約90 度の角度で交わる軸線上の配設するのが好ま しい。

マッフル 5 は上述の多孔質光ファイバ母材 2 及びバーナ 3 の先端部を内包するように設けられており、上記パーナ 3 の上記母材 2 を 挟んで反対側のマッフル 5 の壁面には排気口 6 が設けられている。

をして、ダクトでは一端が上記パーナ3を内包するとともに他端が排気口6に接続上側におり、その中央を内におり、その中央を内におり、その中央を内に上記母材2の一部でいた上記母材2の一部でいたりの開口が形成の周縁にはおったり、なりけられてより、この給気にはながっために対っるのに対っるで、治気口8から流入する空気あるいは、給気口8から流入する空気あるいは、給気口8から流入する空気あるいは、

不活性ガスは一様な流れとして排気口 6 に向って流れることになり、母材 2 に堆積しなかった余剰のガラス生成物 4 a はマッフル 5 内に流出することなく排気口 6 より排出される。

また、マッフル 5 の側壁には給気口 9 が形成されており、マッフル 5 内の余剰の空気あるいは不活生ガスが開口部 7 a からダクト 7 内に流入するので、母材 2 に沿って鉛直上方に巻き上げられる余剰のガラス生成物はこの流れがあるために、マッフル 5 内に流出することなく排気口 6 から排出される。

なお、ダクト7は例えばSi〇2, Aℓ2 O3, SiCまたはSiCもしくはこれらを組合せたもので例えば横断面形状が円形や矩形となるように形成すればよく、好適にはマッフル5に対して着脱自在とするのがよい。また、清掃が容易なようにダクト7自体を例えば軸方向に2分割して組立て式としてもよい。

以上述べた装置によれば、余剰のガラス生 成物 4 a はマッフル 5 内に流出したり、ダク

トでの内壁面に付着・堆積したりせずに排気口の内壁面に付着・堆積したりせずに排落ので、堆積層の別離落下などはおいる。多孔質になって付ける。また、従来のものになる。また、従来のものになる。で設取時間、要する時間を大幅に短縮するとができる。

次に本実施例装置の効果を示す実験例を説明する。

堆積物の落下による母材表面の異常な突起や 傷の発生は1本もなかった。また、マッフル 内壁面には SiO₂ あるいは GeO₂ の堆積はほと んどなかった。

一方、第2図に示す従来の多孔質光ファイバ母材製造装置を使用し、上記と同様の堆積速度,収率で製造を行ったところ、堆積物の落下が原因で3本の不良品が発生した。また、マッフル内壁面の堆積層の厚さは5~6 mmであった。

<考案の効果>

以上、実施例とともに具体的に説明したように、本考案にかかる多孔質光ファイバ母材のと、本考案にかかる多孔質光ファイがのと、本考室によれば、SiO₂, GiO₂等のがったはできるので、がラス生成物がマッフルできるので、ガラス生成物のなどができるので、ガラスとはのの、生ででは固めるとともにできるとともにマッとができるととができるととができるととができるととができるととができるとともになる。

公開実用平成 1-10653.4

4. 図面の簡単な説明

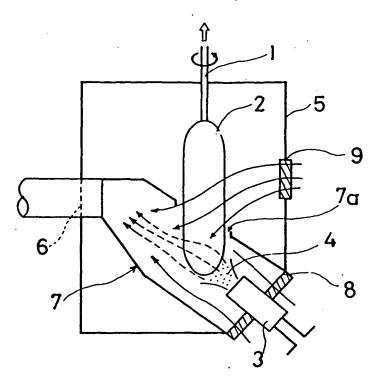
第1図は本考案の一実施例にかかる多孔質光ファイバ母材の製造装置の概略を示す構成図、第2図は従来技術にかかる多孔質光ファイバ母材の製造装置の概略を示す構成図である。

図面中、

- 1 はターゲット材、
- 2 は多孔質光ファイバ母材、
- 3 は酸水素バーナ、
- 4 は原料流、
- 5 はマッフル、
- 6は排気口、
- 7 はダクト、
- 7 a は開口部、
- 8,9は給気口である。

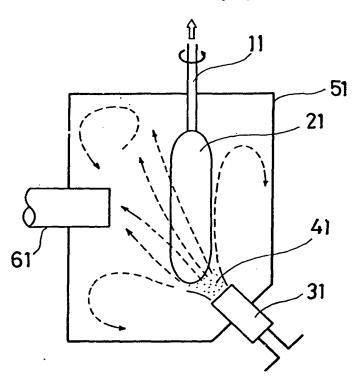
実用新寀登録出願人 住友電気工業株式会社 代·理人 弁理士 光 石 英 俊 (他1名)







第2図



397

<u> 実開 1 - 1</u>0653 4

住友電気工業株式会社 光 石 英 俤 (他1名)